



令和3年度 第2回学校評価結果について

第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、様々な行事が中止となり、地域・保護者の皆様にも子どもたちが学校で活躍する姿を見ていただくことができなかったこと、大変残念に思っております。今年度の反省も踏まえ、4月からの学校生活ではWithコロナとして年間の計画を立て、できる限り地域・保護者の皆様に子どもたちの様子を知っていただけるよう努めていきたいと考えております。また、学校もオンライン学習やWithコロナ等、新しい改革をしていかなくてはならない時期にきております。これまでどおりの行事・取組ではなく、アンケート結果も踏まえ、今一度「子どもたちに付けたい力をつけるために何が必要か」を深く考え、4月からの学校生活に活かしていきます。

児童アンケートより



	よくできている	だいたいでいている	あまりできていない	できっていない	
学校で学習することは楽しいですか。	55.0%	36.2%	7.0%	1.8%	(1)
夢や目標をもって学習できていますか。	47.2%	39.6%	10.4%	2.8%	
ノートに勉強したことや考えたことをていねいに書いていますか。	45.9%	39.9%	11.8%	2.4%	
タブレットを使って調べたり、まとめたりする学習は楽しいですか。	83.8%	11.8%	3.4%	1.0%	(2)
先生や友だちの話をしっかり聞くことができるですか。	58.1%	36.5%	4.6%	0.8%	
学校での学習はよくわかりますか。	59.8%	32.5%	6.4%	1.2%	(3)
授業中に、すんぐ手をあげていますか。	38.6%	27.3%	23.5%	10.6%	(4)
ペアやグループで話しあう時には、自分の考えをすんぐ話せていますか。	45.9%	37.1%	13.0%	4.0%	(5)
学習の中で、問題の解き方やまとめ方、工夫の仕方などを考えることは楽しいですか。	50.2%	33.3%	11.8%	4.6%	
むずかしいことでも、がんばって挑戦していますか。	56.6%	30.5%	9.7%	3.2%	
宿題は、毎日わすれずにしていますか。	67.9%	20.6%	7.6%	3.8%	
宿題とはべつに、家ですすんで学習をしていますか。	61.8%	22.0%	9.3%	6.9%	
学校や家で、自分からすすんで気持ちのよいあいさつや返事をしていますか。	55.0%	36.1%	7.8%	1.0%	
学校行事や学級活動、委員会活動などで、積極的に意見を言ったり、活動したりできていますか。	39.2%	41.4%	14.9%	4.4%	(6)
友だちや家の人が悲しくなるような、ひどい言葉づかいをしないように気をつけていますか。	60.8%	30.3%	6.4%	2.4%	
みんなと協力して、いろいろなことに取り組んでいますか。	58.6%	33.9%	6.4%	1.0%	(7)
人をいじめたり、仲間はずれにしたりしないように気をつけていますか。	84.5%	13.3%	1.2%	1.0%	
学校や家で、安全に気をつけて行動していますか。	70.6%	24.5%	3.0%	1.8%	
学校や家での「きまり」を守っていますか。	62.4%	31.9%	4.2%	1.4%	
自分や友だちの心や体の健康を守る行動ができますか。	71.3%	24.3%	3.6%	0.8%	(8)
学校で配られた手紙やプリントをきちんとお家の人に見せていますか。	67.5%	24.3%	7.0%	1.2%	

【確かな学力】

今年度も感染症対策を行いながらの学校生活が続いておりますが、子どもたちは一生懸命に学習に取り組むことができています。アンケートでも「学校での学習が楽しい。」「学校での学習はよくわかる。」と回答している子どもたちが多く、安心しています。(①③) 教職員も、昨年度に比べ、このような状況下でも『今できること』を考え、工夫して学習を行うよう日々考えています。例えば、タブレットを活用した学習では、個人的に調べたりまとめたりするだけでなく、学級みんなの意見や考え、作品等をタブレットを通して見たり、そこから学習を発展できるようにしたりしています。タブレットの有効的な活用は今後も積極的に進めています。

(②) その一方で、昨年度同様、授業中に進んで発表する児童や自分の考えが話せていない児童が多いことが課題として挙げられます。原因としては、発表の場が減ってしまったことも挙げられますが、それだけではないと感じています。子どもたちの中には恥ずかしさや友だちにどう思われるか、間違っていないかなどの不安な気持ちもあると考えられます。子どもたちが安心して発表できる学級作りや楽しい授業作りを今一度見直し取り組んでいきたいと思います。(④⑤)

【豊かな心】

学校行事や学級活動、委員会活動など子どもたちが活躍する活動に関しては、中止や変更などもあり、十分取り組めていないと言えます。子どもたちが「よくできている」と感じていないことも納得できます。そんな中でも、高学年はリーダーとして全校に向けてできる取組を考えてくれました。運動会では6年生が各学年の競技を手伝ったり、応援で盛り上げたりしました。委員会活動では、全校で集まらなくてもみんなが参加したり、楽しんだりできる企画を考えました。高学年の姿を見て、低・中学年も自分たちにできることを考えるきっかけになったのではないかと思います。(⑥⑦)

【健やかな体】

今年度新しくアンケート項目に入れました。感染症対策の中、日常の中で子どもたちにも命を守るために行動が求められています。また、実際の行動だけでなく、相手を思いやった言動の大切さを学校でも伝えてきました。結果から、子どもたちがしっかりと情勢をとらえ、自分も友だちも大切にする行動がとれていることがわかります。感染症対策だけでなく、今後様々な場面で大切な力だと思います。(⑧)

保護者アンケートより



	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない	
お子さんは、学習したことを丁寧にノートに書いていますか。	15.6%	51.3%	21.3%	6.3%	5.6%	①
お子さんは、調べたり、まとめたりする学習でタブレットやパソコンを使っていますか。	16.4%	39.8%	15.6%	21.2%	7.1%	
お子さんは、人の話をしっかり聞いて理解できていますか。	17.5%	63.6%	16.0%	1.7%	1.2%	
お子さんは、学校で勉強している内容がよく分かっていますか。	19.7%	65.6%	12.4%	1.2%	1.0%	②
お子さんは、自分の思いや考えをすくんで話すことができていますか。	19.0%	54.8%	20.6%	4.6%	1.0%	
お子さんは、算数の授業などで考えて問題を解決することに関心がありますか。	20.8%	52.4%	19.3%	4.0%	3.5%	
お子さんは、難しいことでも失敗をおそれずに最後まで挑戦しようとしますか。	13.5%	48.9%	28.7%	7.1%	1.9%	
お子さんは、すくんで宿題に取り組めていますか。	33.1%	47.2%	14.6%	5.2%	0.0%	③
お子さんは、すくんで宿題以外の自主的な学習に取り組めていますか。	16.8%	37.0%	32.4%	12.5%	1.2%	
お子さんは、安心して、楽しく登校することができますか。	48.3%	45.4%	4.1%	1.5%	0.6%	
お子さんは、場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができますか。	23.3%	55.1%	16.4%	2.3%	2.9%	
学校行事や学級活動、児童会活動などを通じて、子どもの発想を生かした取組が進められていると思われますか。	13.9%	56.8%	8.5%	1.9%	18.9%	
お子さんは、言葉づかいに気付けていますか	11.9%	56.8%	24.2%	5.0%	2.1%	
お子さんは、友だちや周りの人と協力して課題を解決できていますか。	16.3%	67.1%	6.5%	1.0%	9.2%	④
お子さんは、人をいじめたり、なまかはずれにしたりしないように行動できていますか。	40.5%	54.6%	1.0%	0.4%	3.5%	⑤
お子さんは、学校や家で、安全に気を付けて行動していますか。	31.7%	61.0%	6.8%	0.2%	0.2%	⑥
お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守っていますか。	37.8%	56.2%	4.8%	0.2%	1.0%	
お子さんは、自分や友だちの心や体の健康を守る行動ができていますか。	30.1%	62.6%	3.5%	0.0%	3.7%	
学校により、学級により、学校ホームページ等を通じて、学校・担任からのメッセージや学校の様子がよく分かりますか。	15.6%	68.5%	10.0%	1.3%	4.6%	
京都嵯峨学園の名称について、知っていますか。	30.7%	61.0%	4.4%	0.2%	3.7%	
京都嵯峨学園は、小中の連携した教育活動として取り組めていますか。	11.6%	54.9%	8.5%	1.5%	23.5%	
京都嵯峨学園は、お子さんに夢や希望がもてる活動ができていますか。	8.3%	49.4%	10.8%	1.6%	29.9%	⑦
京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができますか。	8.5%	54.0%	11.9%	2.5%	23.1%	⑧

【情報発信】

京都嵯峨学園（嵯峨中学校・嵯峨小学校・嵐山小学校・広沢小学校4校の小中連携）については、昨年度よりほとんど活動ができていないこと、活動が少ないため情報提供もほとんどなかったことが今回のアンケートの結果に反映していると考えています。しかし、教職員同士の連携は行っており、今後コロナ禍であってもできることを考えています。子どもたちの9年間の成長を考え、よりよい小中学校生活を送れるように新たな取組も考えていきます。（⑦⑧）



【確かな学力】

保護者・児童アンケートから多くの児童は学校での学習が「よくわかる・わかる」と回答しています。このような結果はここ数年続いており、良い傾向だと考えられます。しかし、ここからさらに良くなるようになりますが今後、学校として考えていかなければいけない部分であるとも言えます。今の状況で満足するのではなく、より子どもたちが学習に興味をもち、積極的に学習と向き合い、粘り強く取り組んでいくように、学習の指導方法の工夫や新しい取り組み方などを行っていきます。（②）また、保護者の方は子どもたちが宿題に取り組めているかどうかについてしっかり見ていただいています。「わからない」という回答が0%だったことからも、保護者の方の子どもたちの学習についての関心の高さが伺えます。学校・家庭と連携しながら、より子どもたちの学習環境を整えていければと思います。（③）

課題としては、学習したことをノートに丁寧に書けていない児童が多いことが挙げられます。丁寧に書くということは、字がきれいというだけでなく、『必要な内容がまとめられているか・後から見返しても内容がわかるか・板書を写すだけなく自分のまとめ方ができるか』など様々な視点で見ることができます。今後はタブレットの活用が多くなると思われますが、ノートに書くこと・まとめるここと・自分の思考を書き表すことの大切さも改めて指導していきたいと思います。（①）

【豊かな心】

昨年度同様、全校児童や他学年との交流は減っていますが、子どもたちは学級や学年で協力したり助け合ったりしながら学校生活を送っています。日常の学校生活の中では、「協力したから上手くできた」「自分だけではできないことができた」「みんなで取り組んだからより良いものになった」等の言葉が子どもたちから自然に出てくることが多く、教職員も嬉しく感じています。そのような子どもたちだからこそ、いじめや仲間はずれも少ないのでないかと考えています。今後も子どもたちの豊かな心を育てられるように、学校・地域・家庭と連携していきたいです。（④⑤）

【健やかな体】

アンケートの結果から、地域や学校、家庭で子どもたちが安全に過ごせていることがわかります。校区の中には、車の多いところ、人通りが少ないところ等もありますが、自転車の乗り方や帰る時間の約束などまりを守っている子たちが多いです。何より、地域の方や保護者の方が登下校や普段からしっかりと見守ってくださっていることが大変有難いです。しかし、子どもたちが安全に気を付けていても、不審者や危険運転の自動車など危ないことがないとは言い切れません。学校での安全指導はもちろん、緊急時にはすぐに体制をとり、子どもたちを守れる教職員であるよう、学校体制もより強化していきたいと考えています。（⑥）



～記述欄より～ お子さんとの関わりの中で、お子さんが「成長した」「変わった」と思われるがあれば、お書きください。

- ・「好きなこと」は何度も繰り返し自ら取り組んでいることがすごくいいことだと感じています。
- ・机に向かって宿題をしている姿を見ると成長を感じます。
- ・一人で何でも挑戦するようになってきた。(1年)
- ・みんなと協調しながら生活することができるようになってきた。(1年)
- ・身の回りのことを自分でできるようになってきた。学校の用意など。(1年)
- ・学校のこと友だちのことをよく話してくれる。(1年)
- ・自分のことは自分でしたいという意識が高まり、宿題や時間割をはじめ、日常生活のことも積極的に取り組むようになった。(1年)
- ・幼稚園の頃よりもルールを守って生活するということが身についてきたと思う。(1年)
- ・クラスの係活動で、みんなのことを考えて「どんなことをしたらいいか」考えていて成長を感じた。(2年)
- ・その時の状況に合せて自分なりに臨機応変に考えて行動できるようになった。(2年)
- ・自分のやりたいこと、思いや考えを伝えるのがだんだん上手くなってきた。(2年)
- ・目上の人に敬語やていねいな言葉遣いをしようとする姿勢が見られるようになった。(2年)
- ・友だちとのトラブルを自分で解決しようすることがあり成長を感じた。(2年)
- ・帰宅してから友だちと遊ぶのか宿題を先にするのかなど、自分で計画を立てて判断できるようになってきた。(3年)
- ・苦手なことにもチャレンジする気持ちをもてるようになってきた。(3年)
- ・友人関係が広まり、いろいろな友だちと遊びながら意見が分かれた時などはどうしたらよいか考えている。(3年)
- ・テストでわからなかった問題をステップアップ(自主学習)で復習するようになった。(3年)
- ・友だちの立場になって考えたり、行動したり、発言したりできるようになった。(3年)
- ・善悪の判断について自分なりに頭で考えることができるようになった。(4年)
- ・集団登校の時に元気のない友だちに声をかけてあげることができた。(4年)
- ・興味のあることを自ら調べることができるようにになっている。(4年)
- ・友だちとの関わりを大事にしたり、自分で頑張ることを決めて励んだりしている。(4年)
- ・友だちの細やかな気持ちを汲み取ることができるようにになった。(4年)
- ・一週間の生活リズムを自分で把握して行動できるようになった。(5年)
- ・タブレットを使った授業やドリル学習を楽しんでいる。(5年)
- ・家のことをよく手伝ってくれるようになった。(5年)
- ・近所の子どもたちとよく遊んでいる。低学年の子どもたちの面倒も見ながら仲良く遊べるように考えている。(5年)
- ・大体のことは自分でできるようになり、頼もしく感じる。(5年)
- ・世の中のニュース・出来事・情報・世の中の流れを把握して話ができるようになった。(6年)
- ・学級委員や委員会の副委員長に立候補するなど、学校の活動に積極的に参加できるようになった。(6年)
- ・みんなのために先頭にたって活動している。(6年)
- ・エスノート(6年生で使用する手帳)を記入するようになってから、時間を意識して行動するようになった。(6年)

学校運営協議会による学校関係者評価

10月に学校運営協議会の方より令和3度第1回学校評価結果についての学校関係者評価をいただきました。今回のご意見をもとに本校の取組を点検し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。

□ 確かな学力

- ・タブレットの活用は重要だと思いますが、読む書くは学習の基本なので大事にしてほしいです。
- ・タブレットの活用、インターネットの使い方を指導することは非常によいと思います。合わせて、学校や家でも、きまりの徹底も十分に行うとよいと思います。
- ・感染症の影響もあり、長く家にいた子どもが、不登校になっているとニュースなどでは聞くことがあります、嵯峨小学校の子どもたちが元気よく集団登校している様子を見て安心しています。
- ・実際、「人に会う」「その場所に行く」等の体験が人格の発達に必要だと感じます。
- ・タブレットの活用は必要ですが、読書や運動にも時間を持ってほしいです。
- ・人と対面して行う授業も大切にしてほしいと思います。

□ 豊かな心

- ・気持ちのよいあいさつが学校の活気に結びついていると感じます。
- ・学校内、知っている人には進んであいさつできる子どもたちになってほしいです。
- ・「3つのあ」が浸透してきていると感じています。
- ・誰にでもあいさつすればよいわけではない。「不審者等の対応の仕方」も指導していってほしいです。
- ・地域ならではのできることをどんどん取り入れてほしいと思っています。

□ 健やかな体

- ・安全に対する意識は保ちながら、不安にとらわれない活動をしていてほしいです。
- ・子どもたちにとって、家庭が心身の疲れを休める場になっていると思います。(コロナ禍なので特に大切。)
- ・地域・保護者の方も学校に入りする際には、十分気を付けているので安心できます。
- ・コロナに関することでは特に「間違った情報」「風評」等で子どもたちが迷わないように指導してあげてください。



『食育』の充実に向けて

★子どもたちの健やかな体づくりを目指して、食の指導を進めていきます。

学校教育では、子どもたちが自分の体について知ること、健康な生活について知ることも大事にしています。授業では、保健や家庭科で体の成長や病気、衛生的な生活、バランスのよい食事、調理などを学習しますが、それ以外にも養護教諭や栄養教諭と連携して学習を行うこともあります。養護教諭は、身体測定や様々な検診の際に、子どもたちに体の成長の変化や男女の体の違い、健康に過ごすためにどのようにしたらよいかなど具体的に子どもたちに伝えています。栄養教諭は、給食時間に各学級を回り、おはしの持ち方や食事のマナー、食材の栄養やおいしさ、旬の食べ物、調理方法などを子どもたちに伝えています。また、毎月発行している『ほけんだより』『いただきます！』でもその時に応じた記事を掲載しています。

今年度第1回目の「学校評価アンケート」の裏面では、保護者の皆様に、子どもたちの食生活について気になることを書いていただきました。子どもたちの食生活を知ることにより、学校での食育に生かしていくたいと考えています。

～記述欄より～ お子さんの食生活に関することで気になることがあれば、お書きください。

【お子さんの食べ方に關して】

- ・食べる量が少ない。(1・2年生)
- ・野菜やきのこ、魚など好き嫌いが多い。(1・2・3・4・5・6年生)
- ・食に対して関心が低く、集中して食べることができない。食べることに時間がかかる。(1・2年生)
- ・ごはんを残し、最後にごはんを食べている。(3年生)
- ・食事中の姿勢や、お箸の持ち方を注意してもなかなか直らない。(1・2年生)
- ・今のこの状況下で運動量よりも食の量が多いように感じる。どのくらいの量を食べさせるのが適量なのかと思う時がある。(2年生)
- ・咀嚼力が弱く、やわらかい食べ物を好んで食べている。(4年生)
- ・食事をするスピードが早く、体重も増加している。(5年生)
- ・おやつを食べる量が多く、ごはんが食べられないことがある。(2・6年生)



【給食に關して】

- ・食べられなかった食べ物が給食で食べられるようになった。(1年生)
- ・家では、偏食な所が見られますが、給食では「おいしい。」とよく食べているようで安心している。(1年生)
- ・給食で食べたものを家でも作ってほしいと言うようになった。(4年生)
- ・野菜嫌いがあり、家では食べない。給食がなくなる中学校が心配。(6年生)
- ・もう少し子どもの好きな献立があってもよい。(6年生)

【全体を通して聞きたいこと】

- ・偏食の場合、どのように食育をしていけばよいのか。(2年生)

家庭・学校で子どもたちの課題を把握し、改善できるように食に関する指導を行っていきます。

～偏食をおす手だて～

◆楽しく食べる

食事は、快であること、楽しいものであることが基本です。食べ物の味や食感を言葉にしてみたり、会話で明るい雰囲気作りをしてみたり、食事の時間が楽しくなるように工夫しましょう。

◆いろいろな味を経験して覚える

苦い味、酸っぱい味などいろいろな味を経験していくことで、味覚が発達していきます。切り方の工夫や、だしや調味料を使い苦味やえぐみを和らげてみましょう。ごはんとおかずを口の中で合わせる「口中調味」でいろいろな味を感じてみましょう。

◆苦手な食べ物のイメージをマイナスからプラスにかえる

野菜を育てたり、料理をしたりして親しみをもつようになります。ぜひ給食レシピもご活用ください。

給食の時間が楽しみだと思ってもらえるよう今後も献立作成や、調理の工夫を考えていきます。

◆短期目標を設定し、励まし、できたら大きく評価する

目標を達成するまでに、いくつか短期目標をつくるようにします。できたら褒めたり、あたたかい言葉かけをしたりしましょう。すぐに好き嫌いなく食べられるようになります。続けていくことが大切です。

- ・お菓子を食べすぎているのではと心配している。(2・3・4年生)
- ・水分を摂らない。水筒の中身が減らずにそのまま持って帰ってくることが多い。教室でも積極的に声かけをしていただけないか。(3・5年生)

他のご意見に関して
も教職員で共通理解し、
取組を考えていきます。